

北総モラールアップ通信

～チーム北総 思いを伝え合い認め合う職場づくりのために～



7月を迎え、もうすぐ令和最初の夏季休業がやってきます。児童生徒は、きっと楽しみにしていることでしょう。教職員の皆さんも、ぜひ有意義に過ごし、この機会にリフレッシュしていただきたいと思います。

さて、北総教育事務所では、不祥事の根絶や職場環境改善の手立てとして、『北総モラールアップ通信』を発行します。個人で、そして組織で、不祥事を起こさない・起こさせない環境づくりや、様々な研修方法等を発信していきます。

これからも、児童生徒が安全に、安心して学校生活を送るために、北総教育事務所は、各市町教育委員会と連携を図り、学校を支援していきます。チーム学校でモラールをアップし、子どもたちと向き合っていきましょう。

今月のテーマ「わいせつ・体罰の防止」

チーム北総SS Sample: 他の模範となれるよう手本を示す。

わいせつ事案がおこる背景を確認しましょう。

わいせつ事案は①自制心の欠如 ②手段 ③場の3つの要因が重なることで発生します。

①自制心の欠如

熱心に指導をしているのだが、手段や場が揃った時から、「私がこの生徒に対して親身になっているから、この生徒は私を頼りにしている」などの「おごり」の心を持ち、「この生徒は私に好意があるのではないか」という「思いこみ」になり、「この生徒に好かれているのなら、このくらいは大丈夫だろう」という周りが全く見えない「油断」した状態となり、自制することができなくなる。

②手段

- ▼携帯電話、LINEで連絡ができるようになる。
- ▼車にのせる。

③場

- 校内に2人きりになれる場所がある。
- 校外で2人きりになる機会がある。

チェック

- 児童生徒の個人情報携帯電話にありますか？
- 校長に許可なく、児童生徒・保護者とメールやLINEをしていませんか？

不祥事を起こさない職場づくりのために… ☆チェックしてみましょう

- 職員同士の会話が深い。
- 管理職や同僚に気軽に相談できる。
- 報・連・相ができる。
- 施設の管理がされている。
- 生徒指導や教育相談は組織で対応している。
- 児童生徒の個人情報が管理されている。
- 携帯電話に不要な情報を残していない。
- ルールやマナーを守り、お互いが気持ちよく仕事ができる雰囲気がある。



みなさんの職場ではできていますか？

こんな研修をしてみませんか

－ロール・プレイング研修「不適切な指導を防止する」－

☆児童生徒役と教師役に分かれて、ロール・プレイングをしてみましょう。

1 目的

- ・役割演技を客観的に捉え、自分の指導の状況を振り返る。
- ・より適切な指導方法について理解を深め、児童生徒との良好な関係づくりに役立てる。

2 実施方法

①場面設定を決める。

(例) 日頃から落ち着きがなく、忘れ物の目立つ生徒Aが、日直の仕事をしなくて帰ってしまいました。事情があるのかもしれませんが、事前には何も知らされていません。周りの生徒は、『Aがサボった』と口々に言っています。翌日、あなたは担任として、生徒Aに対して、どのように指導しますか。

②役割を演じ分けてみる。

【先生役】



怒った口調で呼び止める。



冷たい口調で呼び止める。



平穏な口調で呼び止める。

【考えてみましょう①】

- 自分が生徒の立場だったらどのように感じるか。
- 自分の学校では、どのような指導が多く見られるか。

【生徒役】



反抗的な態度で言い返す。



黙って固まってしまう。



軽く受け流すように聞いている。

【考えてみましょう②】

- 自分が指導する際、得意な反応、苦手な反応はどれか。
- それぞれの生徒に対して、どのような指導が有効か。

【考えてみましょう③】

- 生徒の反応が、「素直でない」「話が染みこんでいないように見える」等、自分の期待どおりでないとき、どのように対応したらよいか。
- 生徒を指導する場面では、どのような危険性があるか。どのようにすれば防ぐことができるか。

3 振り返り

次の点について、振り返りを行う。

- 日頃、児童生徒への指導の際に、自分が心がけていることは何か。
- 生徒指導の中で対応に苦慮したことはないか。そのような経験を共有する中で、組織として対応できることは何か。

☆コンゼツ・ノ・ヒント☆

どんな先生でも、苦手な分野があることでしょう。数学が苦手、絵が苦手…中には「こういう指導の場面は苦手」「こういうタイプの子どもの指導には苦勞する」等、生徒指導における苦手な分野もあるものです。

苦手な分野があることは、決して恥ずかしいことではありません。苦手な場面を、一人で抱え込まずに複数で対応すると、「より適切なアプローチの仕方を学ぶことができる」「不適切な指導を防ぐことができる」等のメリットがあります。

中には自分の苦手なことを、率直に「苦手だ」と言えない人もいることでしょう。そんな時は、周りの方が「一緒に指導に入るよ」と声をかけたり、さりげなくその場に寄り添って、指導の様子を見守ったり…そんな連携や支え合いも、思いを伝え合い認め合う職場づくりには大切だと考えます。

Ⓢ 全ての子供たちは Ⓜ まっすぐ見えています ⓐ いつも教えてもらう頑張る先生方の Ⓡ ルールを守る姿と日頃のマナーを